

緬羊工房アイランドサフォーク

「羽幌町産の一点もの」にこだわる焼尻羊の毛糸製品作り

活動背景・目的

焼尻島で飼育されるめん羊(サフォーク種)に着目し、地域の資源を生かした特産品作りに取り組み、地域の活性化を図る。

30年ほど前に手編みサークルの講師をしていたところ、展示会を行った公民館の館長さんから紹介されて焼尻の羊の毛で編み物を始めたのがきっかけです。平成9年に緬羊工房を立ち上げ、羽幌町のまちづくりのために協力して活動しています。

活動内容

- ・焼尻産羊毛の手紡ぎなどの調査研究
- ・講習会・勉強会の開催
- ・フェルト製品の展示、作品展への出品

【地元産材料へのこだわり】

製品づくりは糸を作るところからはじまり、羽幌町のバラ園のバラや、町内の草木等で染めて製品を作っています。

焼尻の羊の毛で作る一点物のカウチンジャケットは、ボタンも羽幌町の農業試験場で育てているオンコの木の間定材を利用するなど、「羽幌町産の材料」にこだわっています。

羊の毛は余すところ無く使いたいという思いから、手間暇をかけて糸にして製品化しています。

【講習会などの開催】

学校の家庭課の授業でも教えており、最近では、羊毛を色々な形にして木の板に貼り付け、そのまま郵便物として出せる木製はがきの製作を行う体験を計画しており、現在その準備に係っています。

今後の展望・課題など

○展望

長く活動を続けていき、次の世代に引き継いでもらう。また、羽幌町の子供達の記憶に残る活動を今後も続けていく。

○課題

若い人を入れたいが、毛糸づくりが長期間かかることから辞めてしまう。

本当に好きな人でなければ続けられないと思っています。また男性の方にも入ってほしい。

活動分類

■教育・子育て ■食・産業・観光

代表者:本間 範子

連絡先:

〒078-4104 苫前郡羽幌町南4条3丁目

TEL:0164-62-1529

活動地区:羽幌町



▲糸紡ぎ機械



▲温かみのある製品



▲一点物のカウチンジャケット



▲オンコの木でできたボタン